

# 妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業 に係る事例紹介

令和6年1月23日

こども家庭庁成育局母子保健課

# 1. ネットワーク会議の事例

# ネットワーク会議の事例① (主体：都道府県・政令指定都市)

## 宮城県妊産婦メンタルヘルス連絡会議

### ・ 目的：

妊産婦をめぐるメンタルヘルスの問題に対し、妊産婦が有するリスクを早期に把握し、切れ目のない支援が行えるよう関係機関が連携し、情報の共有や意見交換を行うこと。

### ・ 協議内容：

- (1) 医療機関や行政における情報の共有
- (2) 関係機関の連携の在り方やハイリスク妊産婦・育児困難者への対応

### ・ 開催頻度：年1回

### ・ 開催に至る経緯

宮城県産科医会が開催していた会議の事務局をH31年度に県と仙台市で引継ぎ、県と仙台市が持ち回りで開催。

### ・ 構成員

分野	所属等
医師会	宮城県医師会
	仙台市医師会
産科・産婦人科	宮城県産婦人科医会
	仙台産婦人科医会
	宮城県内の周産期医療センター
精神科	宮城県精神科病院協会
	宮城県精神神経科診療所協会
	東北大学病院
看護師・助産師	宮城県看護協会
	宮城県助産師会
行政	宮城県
	仙台市

## ネットワーク会議の事例② (主体：民間病院)

### ・目的：

日ごろからの関係機関との顔の見える関係とネットワークづくり

### ・協議内容：

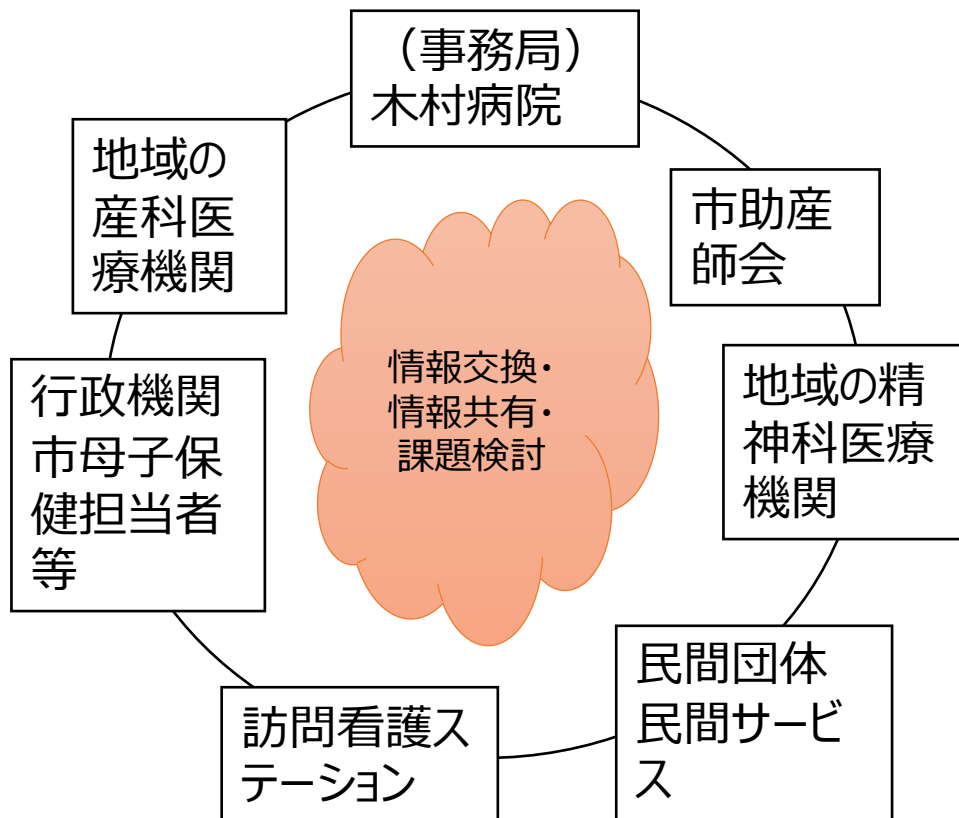
産科医療機関・助産師・母子保健支援者等との合同事例検討会（対面＋リモート開催）。

精神科医だけでなく、県内の複数の産科医療機関や助産師会、民間団体、訪問看護ステーションなどとの定期的なコミュニケーションの機会を持ち、情報交換や情報共有、課題検討を継続的に実施。

### ・行政機関との関係：

市（区）母子保健担当者とは、木村病院の医師が委嘱された区精神保健相談を通じて随時依頼を受けている他、要対協の事例検討会へのアドバイザー派遣に積極的に応じている。

また、包括的な地域支援を要する母児については、院内の家族支援チーム（FAST）会議で検討して、児童相談所、市の所管課への通告・相談・事例検討を行っている。（2018～2022年度 計210件に対応）



## 2. 地域の診療体制の 見える化・整備の事例

# 地域の医療体制の見える化・整備の事例 精神科医療機関リストの作成・管理の事例① (主体：都道府県・政令指定都市が管理)

---

## ・宮城県・仙台市：

- ・ 作成の経緯・・・宮城県産科医会が妊産婦メンタルヘルス連絡会議を開催していたH30年に、県内の精神科医療機関に対して、「妊産婦（周産期）の方の診療の対応可否」についてアンケートを行い、産婦人科医会が一覧表としてまとめた。
- ・ 対象圏域・・・県内全域
- ・ リスト化の際の項目・・・医療機関名、郵便番号、住所、連絡先、妊産婦診療の受け入れ可否、初診予約方法、精神保健福祉士の配置、臨床心理士の配置
- ・ 共有している機関・・・市町村の母子保健担当課
- ・ 課題等・・・リスト作成以降、更新されていないため、情報が現状と異なる可能性がある。  
リストの活用方法についても検討が必要であり、今後、連絡会議にて検討予定。

# 宮城県内の妊産婦のメンタルヘルスケアに係る精神科・心療内科 機関へのアンケート調査結果・診療可能医療機関一覧 H30.5.31

No	医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号	妊産婦診療 の受入れ	初診予約方法		精神保健福 祉士の配置	臨床心理士 の配置
1					可能	予約制	電話	無	無
2					可能	予約制	電話	有	有
3					可能	予約制	電話	有	有
4					可能	予約制	電話	無	無
5					可能	予約制ではない		有	無
6					可能	予約制ではない		有	有
7					可能	予約制	電話	無	有
8					H31.9I可能	予約制	電話	有	有
9					可能	予約制	地域医療連携 室を通じて	有	有
10					可能	予約制ではない		有	無
11					可能	予約制	電話	有	有
12					可能	予約制ではない		無	無
13					可能	予約制	電話 インターネット	無	無
14					可能	予約制	電話	無	無
15					可能	予約制	電話	無	無
16					可能	予約制	電話	無	無
17					可能	予約制		無	有
18					可能	予約制	電話	無	無
19					可能	予約制ではない		有	無
20					可能	予約制	電話	無	無
21					可能	予約制	電話	無	無

# 地域の医療体制の見える化・整備の事例 精神科医療機関情報一覧の作成の事例② (主体：都道府県が作成)

- 大阪府こころの健康総合センター（精神保健福祉センター）：
  - 作成の流れ・・・大阪府内で精神疾患の診療を行う医療機関で、センターのホームページへの情報掲載を了解した機関に対し調査票を送付。医療機関側の回答をもとに情報をホームページに公開。
  - 事前調整機関・・・調査票については毎年、大阪市、堺市、一般社団法人大阪精神科病院協会、公益社団法人大阪精神科診療所協会に事前に確認。
  - 対象圏域・・・府内全域
  - 調査の目的・・・大阪府、大阪市及び堺市の情報提供事業やこころの健康相談事業等において適切な精神疾患診療機関情報を提供することを目的に実施。
  - 調査項目・・・医療機関名（連絡先）、所在地（最寄り駅）、医療機能情報(各医療機関が回答した特色等を記載。選択肢のひとつとして「妊産婦に対する精神科医療」がある。)、診療科目、時間、各医療機関のホームページへのリンク 等。
  - 公開・・・当センターのホームページ（「こころのオアシス」）に「医療機関検索（精神科医療機関情報）」として公開。【<http://kokoro-osaka.jp/list/listfind.html>】
  - 調査時期・・・年1回（5月）、新規医療機関については随時調査

※本調査結果による医療機関の個別情報を他の目的（事業等）で使用する場合は、改めて担当部署から各医療機関に趣旨を説明し了解を得ることとしている。



## 一般病院精神科等

「医療機能情報」欄の記載内容は、精神科・神経科領域の基本的な診療以外に、専門的な治療が可能な診療内容や特色について各医療機関から回答があったものをそのまま掲載しています。**客観的な基準等にもとづくものではありませんが**、検索の参考にしてください。  
診療内容や受付時間、予約の有無、アクセス方法などについて詳しくは直接各医療機関にお問い合わせください。

■…精神科デイケア  
 ■…精神科ナイトケア  
 ■…精神科デイナーケア  
 ■…精神科ショートケア  
 ■…重度認知症デイケア

大阪府北部						
					凡例	メニュー
病院名／（電話番号）	所在地	最寄り駅	医療機能情報 <span style="color: red;">★</span> …18時以降の診療	診療科目	時間表	
			統合失調症、気分障害、パニック障害、睡眠障害、心身症、高次脳機能障害、PTSDなどストレス関連疾患、認知症、カウンセリング、心理テスト、 <b>妊産婦精神科医療</b> 、認知症鑑別診断	精、神内、内、小、外、整外、形外、脳神外、産婦、眼、耳、皮、泌、放、麻、歯、リハ、消内、消外、循内、血内、呼外、乳腺・甲状腺外、糖尿病・内分泌代謝内、病診断、救急	ホーム ページ	
			統合失調症、気分障害、パニック障害、睡眠障害、薬物依存症、アルコール依存症、摂食障害、思春期関連、PTSDなどストレス関連疾患、認知症、その他の依存関連、家族療法、ストレスケア病棟、 <b>妊産婦精神科医療</b> 、認知症鑑別診断、多剤使用や処方薬依存に対する減薬に取り組んでいる、依存症の自助グループを紹介できる、訪問看護、相談員、 <span style="color: red;">女医</span>	精、神内、内、循内、リウマチ、外、整外、麻、リハ、	ホーム ページ	

# 地域の医療体制の見える化・整備の事例 精神科医療機関リストの作成の事例③ (主体：民間病院が作成)

## ママのメンタルケア ネットワークちば

- ネットワークの目的
  - ①千葉県内（千葉市内を含む）で、産後にメンタルが不調の女性の受療に積極的に取り組む精神科医療機関のネットワークを構築
  - ②①の医療機関が掲載された医療保健連携マップをつくる
  - ③県や市町村自治体の所管課や地域保健窓口、産科医療機関、助産師会、医師会等で配布し、母子保健側支援者や当事者がマップをもとに、相談・連携・受療勧奨の円滑化を促す
- 作成の経緯・・・2018年10月から呼びかけ・準備  
同年12月時点で、県内24施設30名の精神科医、5施設6名の産婦人科医の参加  
2019年9月1日 連携マップ（精神科医療機関編）作成
- リスト化の際の項目・・・医療機関名、医師名、郵便番号、住所、連絡先（電話）、ホームページ、問合せ曜日・時間帯、診療対応できる曜日、初診までの待ち日数、対応できる連携エリア、特色、対応困難な病状
- 共有している機関・・・千葉県・市町村・保健所・産科医療機関等に配布
- 特徴・・・一覧のリストだけでなく、マッピングも併せて作成している

# ママのメンタルケアネットワークちば 妊産婦の診療が可能な精神科医療機関の一覧 (リスト)

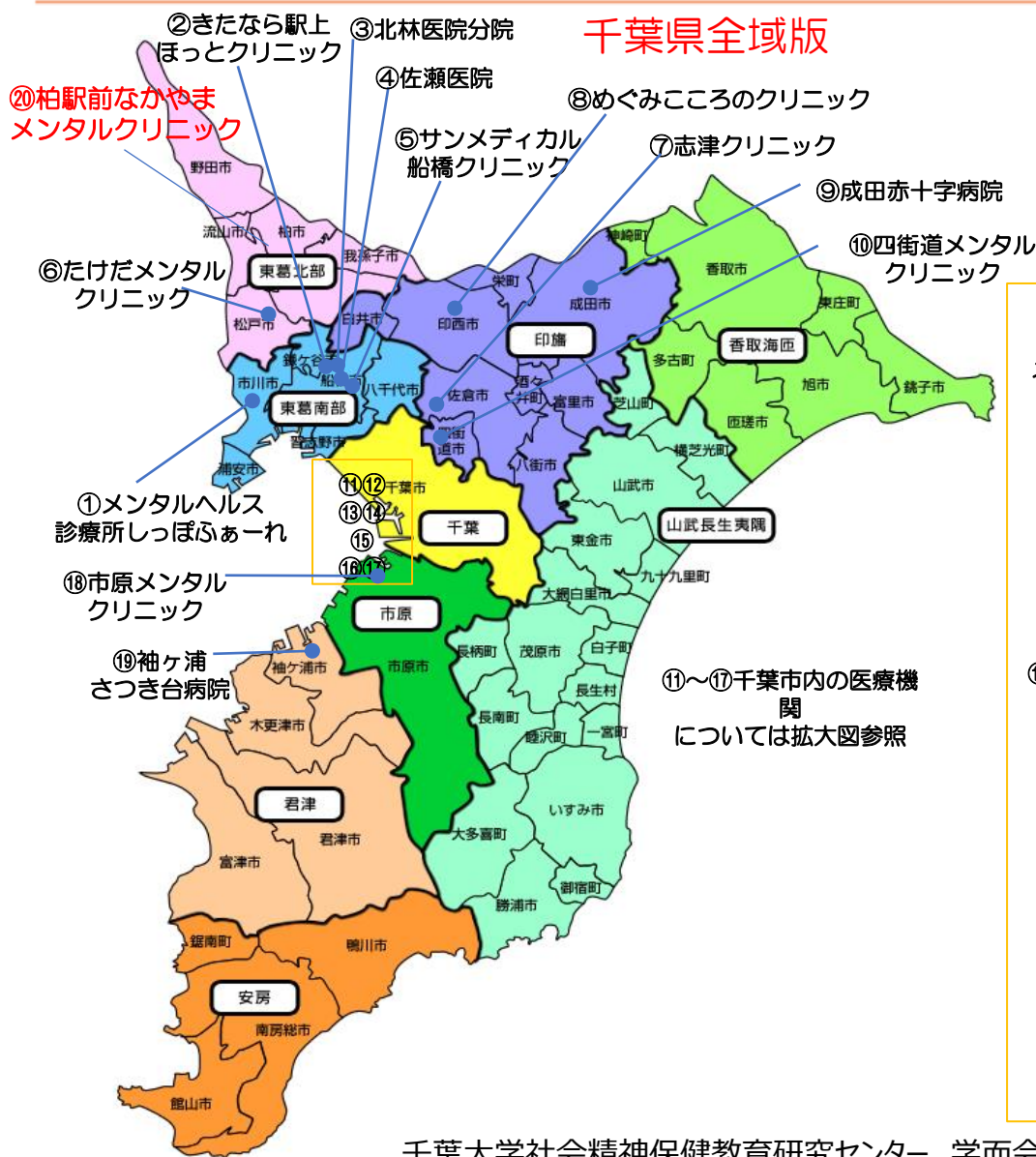
ママのメンタルケアネットワークちば 連携マップに公開する精神科施設一覧 (2022年1月1日現在)

No	自治体	協力医療機関名	協力医師名	〒	住所	電話	ホームページ	お問い合わせ曜日・時間帯	診療対応できる曜日	初診までの待ち日数	対応できる連携エリア	特色	対応困難な病状
①	市川市												
②													
③	船橋市												
④													
⑤	柏市											得意な疾患：うつ病、双極性障害、発達障害。 子育て経験のあるスタッフが勤務している。現在、柏保健所と連携して診療にあっています。	
⑥	松戸市											①松戸市、柏市と密に連携をとっています。 ②産婦人科（松戸市）、産婦人科（松戸市）、ホスピタル（柏市）、 産婦人科（荒川区）とは協力体制をとっています。分科において専門医による児童精神科の診療を行っています。④訪問看護もしています（範囲は近隣に限る）	
⑦	佐倉市												
⑧	印西市											①待合室に個室仕様のスペースがあります。②近くの訪問看護ステーションに相談できます。	
⑨	成田市											妊婦も入院可能です。常勤女性医師が6名在籍しています。	パーソナリティ障害
⑩													
⑪												院長（女性）のみの診療となります。	入院治療必要な方
⑫												産婦人科向けのトイレあり。訪問看護可能	
⑬													
⑭	千葉市											①必要に前住精神保健福祉士が窓口になり外部機関との連携を行います。 ②月に一度子育てに悩むお母さん向けの小グループミーティングを開催し、アンガーマネージメントなどを行っています。	摂食障害
⑮												産後メンタル不調に対処したストレスケア病棟をもっています。専任の常勤心理師、精神保健福祉士が対応します。保健師、産婦人科、助産師会との連携を密に行っています。授乳室、オムツ替え用トイレ、子供向けフレイルーム設置、訪問看護可能、住診も場合により可能	妊婦の入院治療は対応していません
⑯													
⑰													
⑱	市原市											当日インターネット予約可（初診時不可） 連携入院機関あり	薬物関連精神疾患は不可
⑲	袖ヶ浦市												

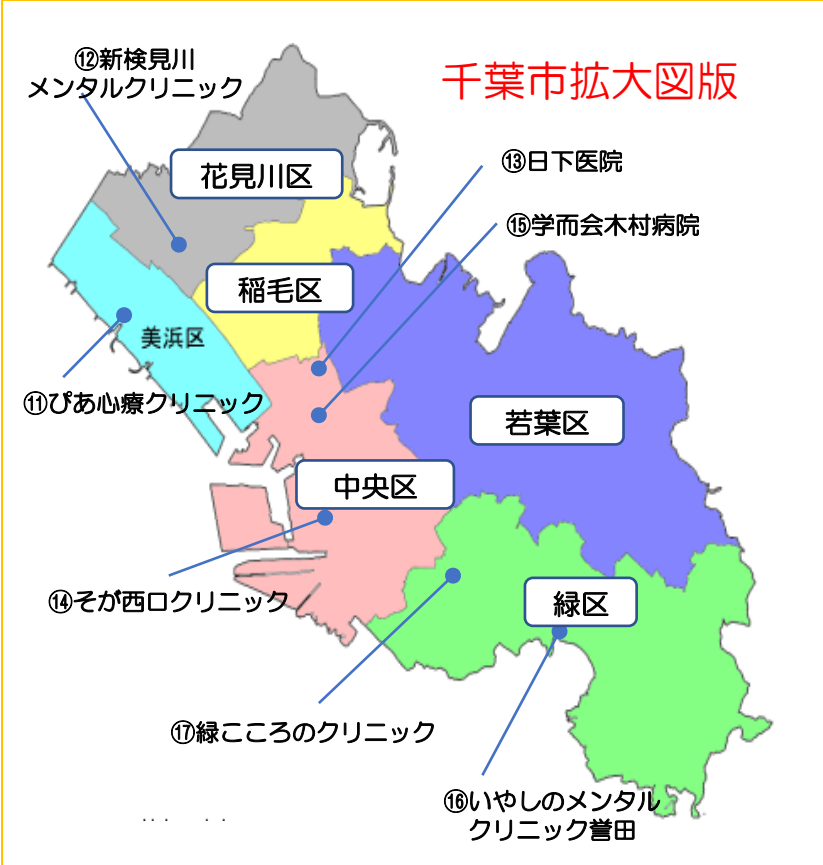
\*ご利用いただく皆様へ  
この表の情報は、2022年1月1日現在のものです。諸般の事情により変更される可能性がありますので、ご利用につきましては、必ず当該の医療機関にご確認してから受診手続き・受療動向をお願い致します。

# ママのメンタルケアネットワークちば 連携マップ（精神科医療機関編）

：2021年（令和3年）9月1日現在



**20精神科医療機関  
(17診療所・3病院)**



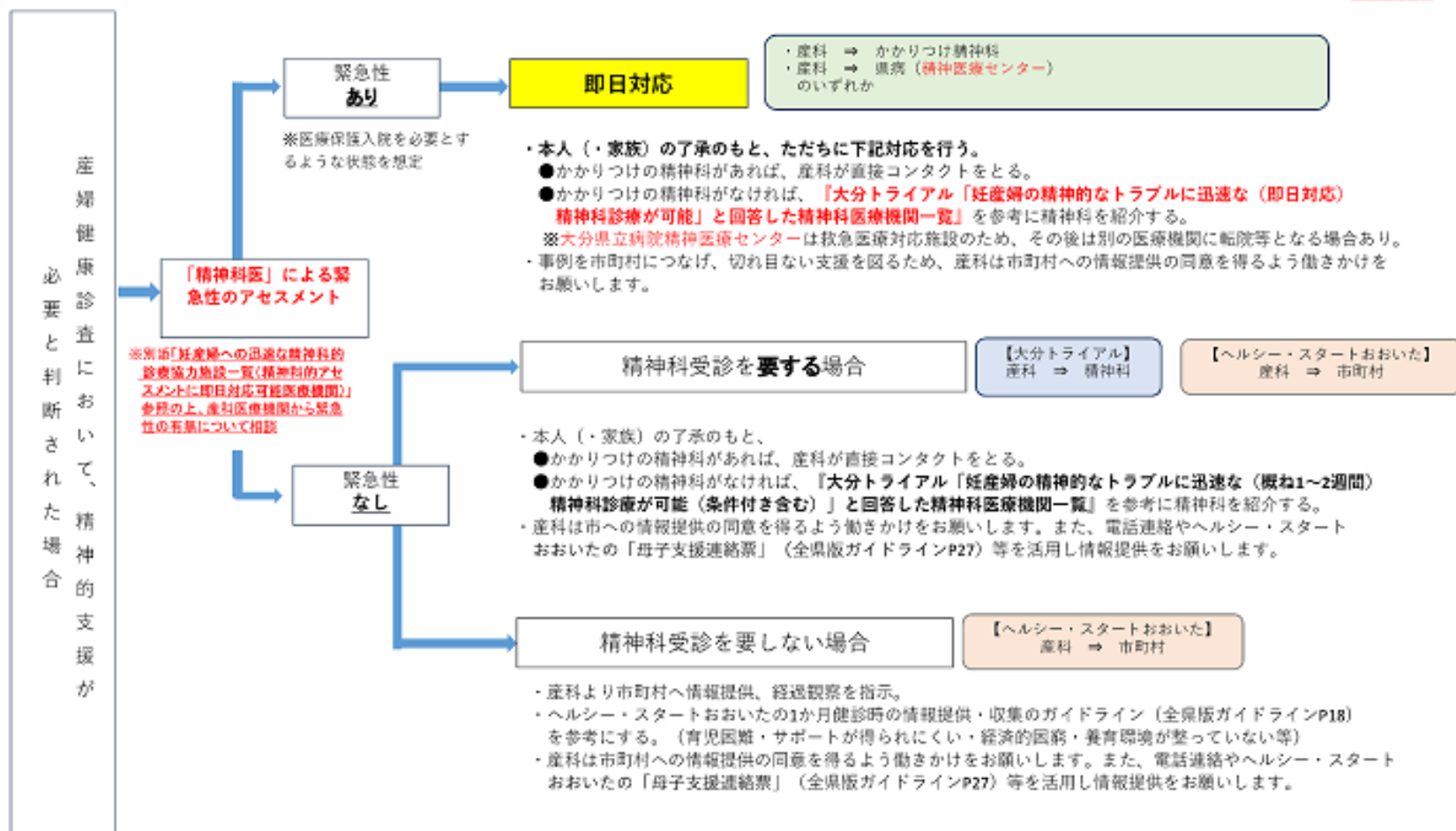
# 地域の医療体制の見える化・整備の事例

## フォロー体制図の事例①

### (大分県の産婦健康診査後のフォロー体制図)

#### 産婦健康診査後のメンタルヘルスフォロー体制

R5.年3月改訂



参考文献：立花良之、「母親のメンタルヘルスサポートハンドブック 気づいて・つないで・支える多職種地域連携」（医歯薬出版）

### 3. 症例検討や相談対応等の コーディネートの事例



# 症例検討や相談対応等のコーディネートの事例 (主体：民間病院)

- 事務局（コーディネートの役割）の構成メンバー
  - 事務局は、院内の『周産期対応チーム（PMCaT）』で運営
  - 構成は、看護師(助産師資格有) 1名、精神保健福祉士 2名（うち1名は相談室長）、公認心理師 1名（心理室長、チームリーダー）
- 症例検討の開催にあたり、行っている業務
  - 検討会の開催についての周知、参加者のとりまとめ、場所確保、配信、まとめ資料作成など
  - 1か月に1回木曜日16時30～18時30分：対面の事例検討会（主に市助産師会）
  - 3か月に1回木曜日16時30分～18時30分：リモートの拡大検討会（千葉県内産科、精神科、助産師、福祉関係者、行政など）
  - 年に3回程度の、一般市民向け、保健師向けの研修会を市助産師会と合同開催しており、事務局を務めている
- 取り上げる症例を決める際のきまり
  - 参加者から、出したい事例を募ると積極的に応募がある状況。困っている事例や相談したい事例を持ち寄って次の会に発表・検討するという流れで継続
- その他（相談について）

「支援が必要な妊産婦を地域の精神科医療機関での適切な受診や必要な支援につなげるための関係者からの相談」については、

- ①女性のこころ専門外来への関係機関の関係者からの予約の際に、新患予約担当の精神保健福祉士による詳細な聴き取りや相談が行われる。（原則、予約成立の際には、改めて妊産婦本人・家族から連絡をもらい受診日が確定する）
- ②ネットワークや研修会の参加者からは、直接事務局メンバーに相談が入ることもある。